

アンチ・アンチエイジング的

ケア学 のすすめ



嶋守さやか



嶋守さやか
『訪問看護師ものがたり
ご在宅の力』
刊行: 2025年11月25日
発行: 新評論
価格: 2,200円(税込)



上野千鶴子

撮影: 後藤さくら

2026年 7月12日 (日)

19:00-21:00 [開場 18:30]

隣町珈琲

東急池上線「荏原中延」
東急大井町線・都営浅草線「中延」
各徒歩5分

(〒142-0053 東京都品川区中延 3-8-7 サンハイツ中延 B1
/TEL 03-6451-3943)

会場チケット / オンラインチケット

¥2,500

下記 Peatix ページ (QR コード) より
事前にお申し込みください。



■ ケアの社会学者・嶋守さやかさんによる
イベントシリーズ。
今回はケアとジェンダーの第一人者、
上野千鶴子さんをお招きします。
上野さんは、老いて弱くなることを否定する
「アンチエイジング」にアンチをとнаえ、
老い衰え、自立を失った人間が生きる社会を構想する
『アンチ・アンチエイジングの思想』を上梓しています。
一方で嶋守さんは一人ひとりの「生ききり」と
訪問看護師が紡ぐ「よい訪問看護」の「ものがたり」
『訪問看護ものがたり』を昨年上梓されました。
『アンチ・アンチエイジングの思想』から、
『訪問看護ものがたり』を読みとけば何が見えるのか。
認知症になる人やひとり暮らしが増えている時代、
国は社会保障費を削減し、在宅医療を推進しています。
私たちが人生を生ききり、望む最期のために、
どうしても譲れない条件は介護保険の死守。
老いている私たちの意思形成支援と意思決定支援です。
安心して死んでいくことが選べる社会の実現を考える
特別講座です。
ぜひご参加ください！